

平成 28 年度 事業報告書



社会福祉法人岡山県共同募金会

I 平成 28 年度共同募金実績額の概要

1. 共同募金実績額

(単位：円)

区分		目標額	実績額	目標達成額	昨年度実績額	増減額
				対前年度実績比		
一般募金	市町村委員会	335,000,000	267,216,247	79.8%	270,375,296	-3,159,049
				-1.2%		
	本会	5,000,000	17,044,585	340.9%	14,203,301	2,841,284
	計	340,000,000	284,260,832	83.6%	284,578,597	-317,765
				-0.1%		
歳末たすけあい募金	地域歳末	80,000,000	61,550,036	76.9%	63,377,133	-1,827,097
				-2.9%		
	NHK歳末	10,000,000	5,936,833	59.4%	6,405,225	-468,392
	計	90,000,000	67,486,869	75.0%	69,782,358	-2,295,489
				-3.3%		
合計		430,000,000	351,747,701	81.8%	354,360,955	-2,613,254
				-0.7%		

[参考] 募金方法別実績額

○一般募金

区分	合計(①～⑦)	①戸別募金	②街頭募金	③法人募金	④学校募金	⑤職域募金	⑥イベント募金	⑦その他の募金
実績額	284,260,832	211,861,384	2,825,620	29,249,839	2,011,779	20,089,734	3,342,325	14,880,151
構成比	100.0%	74.5%	1.0%	10.3%	0.7%	7.1%	1.2%	5.2%

○歳末たすけあい募金

区分	合計(①～⑦)	①戸別募金	②街頭募金	③法人募金	④学校募金	⑤職域募金	⑥イベント募金	⑦その他の募金
実績額	67,486,869	58,117,621	258,513	1,749,738	89,059	0	906,666	6,365,272
構成比	100.0%	86.1%	0.4%	2.6%	0.1%	0.0%	1.4%	9.4%

* NHK歳末たすけあい募金の実績は、⑦その他の募金に計上。

Ⅱ 事業実施の内容

1. 共同募金運動の推進

(1) 市町村共同募金委員会の活動支援

市町村共同募金委員会の地域における主体的な広報・募金活動の推進を支援し、共同募金への住民参加を促進し、募金実績の向上に取り組んだ。

①「共同募金活動強化特別支援事業」の実施

市町村共同募金委員会の募金額の増額につながる取り組みを支援し、募金実績の向上と共同募金への理解と協力、住民参加の促進を図った。

[21 市町・36 事業／助成総額 6,450,000 円]

②新たな募金グッズの企画・作製

市町村共同募金委員会担当者の意見を反映するなどした新たな募金グッズや、各市町村共同募金委員会独自の募金資材を企画・作製し、職域募金の増額及び新たな寄付者の開拓に努めた。



うさピーバック
(倉敷市共同募金委員会)

帆布バック
(津山市共同募金委員会)



ダスキン台所セット
(玉野市共同募金委員会)

緊急用防災バッグ
(備前市共同募金委員会)

クマさんスポンジ
(真庭市共同募金委員会)



缶バッジ／オリジナルポスター
(浅口市共同募金委員会)

募金バッジ
(岡山県共同募金会)

④寄付機能付清涼飲料水自動販売機設置の推進

新たな募金方法のひとつとして、寄付機能付清涼飲料水自動販売機（ハートフルベンダー、伊藤園赤い羽根自動販売機、西日本ビバレッジ自動販売機）を設置することにより募金の向上を図った。

[設置台数 17 台／寄付合計額 778,085 円]

⑤赤い羽根共同募金「寄付つき商品 地域支援プロジェクト」の実施

本年度から、企業等の「社会貢献活動」と「赤い羽根共同募金」を結びつける新たな取り組みである、赤い羽根共同募金「寄付つき商品地域支援プロジェクト」を実施した。

このプロジェクトは、企業等が通常の営業・販売活動の中で「寄付つき商品・企画」を作り、その売上の一部を共同募金に寄付することにより、企業等が所在する地域の福祉活動を支援することを目的としている。

なお、本年度は下記 15 社の協力を得た。

No.	登録企業名	所在地	寄付つき商品・企画の内容
1	株式会社しんすけ	倉敷市	倉敷～赤い羽根 思いやりプロジェクト～ 割烹山部及び鬼の厨しんすけの指定商品(赤い羽根思いやりミニ懐石等)：売上1件につき50円～100円寄付
2	えんどう家の漬物	岡山市	えんどう家の漬物 地域支援プロジェクト 白瓜の奈良漬、または、福部らっきょう漬 ：購入1件につき20円寄付
3	久津間製菓株式会社	井原市	赤い羽根 手作りやまんぼうや地域思いやりプロジェクト 「井原銘菓やまんぼうや」：購入1件につき2円寄付
4	ヤマメン株式会社	井原市	赤い羽根 消防団はっぴ風Tシャツ地域思いやりプロジェクト 消防団はっぴ風Tシャツ：売上の5%寄付
5	ひだまりカフェ ぽっぽや	井原市	赤い羽根 カフェコンジェラート地域思いやりプロジェクト カフェコンジェラート：売上1件につき20円寄付
6	D# THE STORE	井原市	赤い羽根 井原デニム小物各種地域思いやりプロジェクト 店舗指定の井原デニム小物：売上の5%寄付
7	大興産業株式会社	井原市	赤い羽根 ウヅラ酢地域思いやりプロジェクト ウヅラ酢：売上の3%寄付
8	日本綿布株式会社	井原市	赤い羽根 デニムジーンズ地域思いやりプロジェクト デニムジーンズ(メンズ)：売上の2%寄付
9	Cafe Restaurant くらら	井原市	赤い羽根 オリジナルごまドレッシング地域思いやりプロジェクト オリジナルごまドレッシング：購入1件につき30円寄付
10	ビアハウスSUR'E (シュール)	井原市	赤い羽根 地域思いやりプロジェクト ビール各種、茶そばサラダ風、ミックスピザ ：売上1件につき5円

No.	登録企業名	所在地	寄付つき商品・企画の内容
11	三盛物産株式会社	倉敷市	三盛物産まごころプロジェクト 食品ギフトカタログ掲載商品及び桃太郎麦茶、桃太郎カレー：売上の1%寄付
12	シャングルー ブ 有限会社シャ ン	倉敷市	赤い羽根 地域HOT（ほっと）プロジェクト 各店舗が指定する商品：売上1件につき50円寄付
13	株式会社志多木組	井原市	赤い羽根 新築・増改築・修繕事業地域思いやりプロジェクト 各工事：1件につき工事費の2%寄付
14	株式会社 インテリア川井	井原市	赤い羽根 輸入壁紙・施行事業地域思いやりプロジェクト 輸入壁紙の購入及び施工：売上の1%寄付
15	有限会社 植木保険サー ビス	倉敷市	赤い羽根 おもいやり安心安全プロジェクト 自賠償保険、自動車保険、火災保険、生命保険の更新契約・新規契約：1件につき100円、または、0.1%～0.5%を寄付



(2) 住民の支えあい活動の支援

① 「赤い羽根 まちづくり福祉活動助成事業」の実施

市町村共同募金委員会が地域の実情に合わせた独自の助成基準及び選考により、ふれあい・いきいきサロン等の地域の福祉活動団体に主体的に助成ができるよう、市町村共同募金委員会に対し助成財源を交付した。

[23 市町・24 事業／助成総額 16,904,138 円]

②「赤い羽根 ボランティア団体・NPO活動支援事業」の実施

ボランティア団体やNPO法人が行う福祉及び福祉を主体とした事業に対し、公募方式により助成を決定した。

[4 団体／助成総額 480,000 円]

③赤い羽根共同募金「地域ささえあいプロジェクト」の実施

1月1日から2月28日までの2か月間、社会課題の解決に取り組むNPO法人等と協働して、本プロジェクトを実施した。

参加団体は、自らの活動の必要性を訴えながら、その活動に必要な資金を主体的に調達するための募金活動を行い、参加団体が集めた募金に一定額を加算し、それぞれの団体の活動に対し助成を決定した。

[9 団体／助成総額 10,610,000 円]

(3) 共同募金広報の展開

- ①報道機関への情報提供活動
- ②新聞広告の掲載
- ③テレビ・ラジオスポットの放映・放送
- ④ホームページを活用した情報提供
- ⑤赤い羽根データベース「はねっと」による助成内容の情報提供
- ⑥チラシの作成・配布
- ⑦赤い羽根協力店の設置推進
- ⑧各種募金・広報資材の活用
- ⑨学校募金
- ⑩配分交付式・贈呈式の実施

[※取組内容は別掲]

2. 共同募金運動の展開

(1) 初日行事（オープニングセレモニー）

運動初日10月1日のオープニングセレモニーには、多数の募金関係者、ボランティアが参加し運動開始を華々しく飾った。



①赤い羽根空の第一便（第55回）－ANAグループ（全日空）協賛行事

全日空機羽田発岡山着の第一便にて、厚生労働大臣及び中央共同募金会会長メッセージと赤い羽根が到着し、岡山駅前広場において、伊原木岡山県知事、大森岡山市長、藤本岡山県共同募金会長及び内田岡山市共同募金委員長あてのメッセージがANAグループ客室乗務員から伝達され、運動開始の気運を高めた。

なお、このイベントには、福祉関係団体職員、福祉専門学校生徒等約200名のボランティアが参加・協力した。

②保育園児鼓隊演奏

上記セレモニー終了後、セレモニー会場にて朝日保育園園児の鼓隊による演奏を行った。

③ 街頭募金活動

セレモニー後の街頭募金には、岡山県副知事、岡山市長、岡山県共同募金会正副会長、岡山市共同募金委員長をはじめ、県・市幹部職員、福祉関係団体職員、ANAグループ客室乗務員、募金ボランティアなど多くの参加を得て、岡山駅前周辺においてさわやかに通行人へ募金協力を呼びかけた。



赤い羽根空の第一便



激励のことば



赤い羽根・募金箱の伝達



セレモニー終了後の街頭募金風景



(2) 各地域での取り組み

県下各市町村においても、それぞれ地域の特色を活かした募金・広報活動を展開した。



児島はばたきふれあい祭り
(倉敷市共同募金委員会)



街頭募金
(玉野市共同募金委員会)



真庭市社会福祉大会
(真庭市共同募金委員会)



奈義町体力づくり町民運動会
(奈義町共同募金委員会)



秋のがいせん桜まつり
(新庄村共同募金委員会)

(3) 備前焼チャリティの実施

岡山県、岡山市、岡山県市長会、岡山県町村会、岡山県社会福祉協議会、岡山市社会福祉協議会の後援による第14回「赤い羽根 備前焼チャリティ」を実施し、次の成果を得た。

○日程：10月18日（火）～19日（水）

○会場：岡山駅1階「つどいの広場」

○作品：本会会長 藤本道生（号：三猿）の無償提供作品

○成果：展示作品数 307点／販売作品数 114点

売上金額 344,223円／募金繰入額 344,223円

※第1回（平成15年）から第14回（平成28年）までの募金総額：6,793,028円



(4) 広報活動等

①報道機関への情報提供活動

報道機関への積極的な情報提供に努め、テレビニュース、また、新聞記事で共同募金事業が取り上げられるよう働きかけ、県民の理解と協力が得られるよう努めた。



②新聞広告の掲載

運動開始初日の10月1日には、山陽新聞朝刊に新聞広告（全7段）を掲載し、県民に共同募金への理解と協力を求めた。



③テレビ・ラジオスポットの放映・放送

県内民放各社ならびにCATV各局に、運動期間中及び運動終了後の共同募金運動テレビスポット・ラジオスポットの放映・放送協力を依頼し、各局から多大な協力を得た。

[協力先／順不同]

山陽放送（テレビ・ラジオ）	テレビ津山	美作市ケーブルテレビ
岡山放送	笠岡放送	矢掛放送
テレビせとうち	井原放送	鏡野町有線テレビ
岡山ネットワーク	吉備ケーブルテレビ	みさきタウンテレビジョン
倉敷ケーブルテレビ	日生有線テレビ	岡山エフエム放送（ラジオ）
玉島テレビ放送	真庭いきいきテレビ	M・エステート（大型ビジョン）

④ホームページを活用した情報提供

本会ホームページやFacebookを活用し、本会の活動や助成結果及び助成を受けた施設・団体からの「ありがとうメッセージ」、また、助成事業の紹介など、共同募金に関する情報提供に努めた。

⑤赤い羽根データベース「はねっと」による助成内容の情報提供

赤い羽根データベース「はねっと」により、助成先や助成事業内容などのデータを公表し、共同募金の使いみちの周知を図った。

⑥チラシの作成・配布

昨年度募金運動の結果報告ならびに本年度募金運動の目標額等や「ありがとうメッセージ」を掲載したチラシを各戸に配布し、募金への協力と共同募金運動の理解促進に努めた。

⑦赤い羽根協力店の設置推進

地域のスーパー、コンビニ、金融機関等の人がよく集まる店舗等に共同募金ポスター及び募金箱を設置し、「赤い羽根協力店」活動の推進を図った。

⑧各種募金・広報資材の活用

赤い羽根やポスターをはじめとした各種募金・広報資材を積極的に活用した運動を展開し、子ども達にも共同募金に親しみと興味を持ってもらえるよう、昨年に引き続き、「妖怪ウォッチ」や「初音ミク」をデザインしたクリアファイル等各種資材を活用した募金活動を行った。

⑨学校募金

児童・生徒の「たすけあいの心」を育てるため、共同募金運動を説明した学校用壁新聞や学校募金ハンドブック（教師用手引書）などを配布するとともに、児童・生徒に組立式募金箱（紙製）を配布し、自主的な募金への取り組みを図った。

⑩配分交付式・贈呈式の実施

共同募金の配分にあたっては、下記のとおり配分交付式・贈呈式を実施し、テレビ・新聞等報道機関を通じて、募金の使いみちについて県民への周知を図った。

開催日	名称	会場
4月11日	共同募金配分交付式	きらめきプラザ
12月19日	NHK歳末たすけあい配分交付式	ひかりの広場（リットシティビル）
1月30日	節分福豆贈呈式	きらめきプラザ



共同募金配分交付式

配分が決定した施設・団体の代表者に対し、本会会長より配分決定通知書を交付した。



NHK 歳末たすけあい配分交付式

配分が決定した 21 施設・団体の代表者に対し、本会会長より配分決定通知書を交付した。



節分福豆贈呈式

最上稲荷総本山奉賛会より本会が福豆等の寄贈を受け、岡山市内の児童養護施設等へ福豆等を配布した。

3. 企画・推進会議の設置

「本県における今後の共同募金事業のあり方」について本会会長の諮問に応えるため、岡山県共同募金会企画・推進会議を設置し、新しく提言された「中央共同募金会企画・推進委員会答申」をベースに置きながら、岡山県共同募金事業のこれまでの取り組みの経緯も考慮し、今後のあり方の方向性について検討を行った。

検討の結果は、「参加と協働（運動性の再生）に向けた共同募金の今後の在り方～みんなが温かい気持ちになる募金を目指して～」と題した「意見具申」としてまとめられ、平成 29 年 3 月、本会会長に提言がなされた。

4. 歳末たすけあいの実施

(1) NHK 歳末たすけあい

NHK 岡山放送局と連携し、12 月 1 日より同月 25 日まで募金の受付を行い、配分については全県の視野から効果的かつ適切な配分を行った。

なお、12 月 19 日に NHK 岡山放送局に隣接のひかりの広場にて配分交付式を実施した。



NHK歳末たすけあい初日、
市内幼稚園児からの募金を受け取った。



NHK歳末たすけあい配分交付式

(2) 地域歳末たすけあい

12月1日より年末まで歳末たすけあい募金を実施し、市町村社会福祉協議会の行う歳末支援事業に配分を行った。

Ⅲ 顕 彰

岡山県総合社会福祉大会（10月12日／岡山市民会館）にて、共同募金運動奉仕功労者・従事功労者等に対し、岡山県共同募金会会長表彰を贈り顕彰した。

また、全国社会福祉大会（11月11日／日比谷公会堂）にて、共同募金奉仕に功労のあった個人・団体に対し、中央共同募金会会長表彰を贈り顕彰した。

	中央共同募金会会長表彰	岡山県共同募金会会長表彰
奉仕功労者	2名	44名
優良地区・団体	1団体	9団体
従事功労者	1名	8名

Ⅳ 市川基金及び大口篤志寄付金による事業運営

市川基金（市川勝博氏による寄付）及び特定非営利活動法人西日本義歯リサイクルセンターからの寄付金を活用し、次の助成事業を実施した。

(1) 赤い羽根共同募金「児童養護施設等入所児童就職・進学支度支援金事業」

就職・進学等により児童養護施設等に入所している児童が、退所（自己都合による途中退所は除く）または委託解除となる際、その児童の新たな生活を支援するため（運転免許取得、生活準備品購入、入学準備品購入等）、1名あたり100,000円を助成した。

[8施設・18名／助成総額 1,800,000円]

(2) その他の児童健全育成事業

[2団体／助成総額 70,000円]

V 緊急配分金の運営

緊急配分金による火災見舞金（住家全焼に対する見舞金、火災による死亡に対する弔慰金）への配分を行った。

[配分総額 900,000 円]

VI 災害への対応

災害たすけあいへの協力状況は次のとおり。

No.	義援金名称	募集期間	送金先	義援金額(円)
1	東北地方太平洋沖地震義援金	平成 23 年 3 月 14 日～ 平成 30 年 3 月 31 日	日本赤十字社 岡山県支部	96,633
2	熊本地震義援金	平成 28 年 4 月 15 日～ 平成 30 年 3 月 31 日	熊本県共同募金会	14,581,762
3	平成 28 年 4 月地震 大分県被災者義援金	平成 28 年 4 月 22 日～ 平成 29 年 9 月 30 日	大分県共同募金会	10,000
4	平成 28 年 8 月 20 日からの大雨 (台風 9・10・11 号等)災害義援金	平成 28 年 9 月 2 日～ 平成 28 年 9 月 30 日	北海道共同募金会	3,000
5	台風 10 号大雨等災害義援金	平成 28 年 9 月 5 日～ 平成 29 年 3 月 31 日	岩手県共同募金会	590
6	平成 28 年鳥取県中部地震 災害義援金	平成 28 年 10 月 25 日～ 平成 29 年 3 月 31 日	鳥取県共同募金会	302,965
7	平成 28 年新潟県糸魚川市に おける火災義援金	平成 28 年 12 月 26 日～ 平成 29 年 6 月 30 日	新潟県共同募金会	143,973
		計		15,138,923